

## 06.9.14 一新塾名古屋勉強会 定例会記録

日時 平成18年9月14日(木) 19:00~21:30  
場所 名古屋ボランティア NPO センター  
出席 加部、近藤、榊原、高瀬、田中、宮田  
記録 宮田

今回は、ひとつの案件が議題の全てだった。

### 1. 「市民の市民による市民のためのサービスづくりプロジェクト」

[概略]

- ・ 一新塾名阪合同合宿が先月8月19日、20日に開催され、その中で高瀬さんが推進する「市民の市民による市民のためのサービスづくりプロジェクト」が立ち上がった。
- ・ これは、現在高瀬さんが岐阜で進めている NPO 中間支援組織の指定管理の受託に向けた動きと連動しており、実際に岐阜市内の中間支援機関に対し事業の実施状況及び事業計画を調査し、その運営や具体的な政策提言に繋げるというもの。その結果として「市民による市民のためのサービスづくり」のしくみより効果的な形で構築する。
- ・ 一方、この目論みに対し、近藤さんが推進する「納税者の権利プロジェクト」の視点が入り、具体的に NPO に対するニーズの調査やアウトカムの測定、及びそれらを調査した上での NPO 学会への発表もその進行上を実施する流れが加わった。(NPO 学会への論文提出は9月31日までに概要の提出が必要。NPO 学会へ提出する論文は、一般的なものと同様、仮説→検証→結論の流れで作成する)
- ・ 調査の段階においては「高瀬・桐谷ペア⇒岐阜市」「近藤さん⇒豊田市」「榊原さん⇒安城市」「田中さん⇒名古屋市」「宮田⇒美濃加茂市」(ただあまり分散しすぎるのもどうかという意見も出た)
- ・ もうひとつ9月末までに、一新塾のプロジェクト発表会があり、高瀬氏はとりあえずそちらの資料等の作成を行う。
- ・ 実際の調査に関する結論は、今回はでなかった。